

事業名	超高能力牛群造成高度利用システム化事業		
予算区分	県単 (45,333千円)	担当	改良技術研究室 繁殖システム研究グループ
事業期間	継続 (平成5年度～)	協力関係	県下5家畜保健衛生所 おかやま酪農業協同組合
事業目的	1 県下乳用牛の効率的な改良を推進するため、当研究所が繋養する超高能力牛から採卵・性判別した雌受精卵を牛検農家に譲渡し、高能力牛群を造成する。 2 酪農家所有の優良牛受精卵を性判別し、優良後継牛の効率的な作出を図る。 3 繁殖能力の低下し、通常の方法では後継牛を作ることができない優良乳用牛を受託し、経膈採卵・体外受精を行うことで、移植可能卵を作製する。		
○ 本年度事業のねらい 乳牛の効率的な育種改良を推進するため受精卵移植技術を活用し、改良意欲の旺盛な牛群検定加入農家に超高能力牛受精卵を譲渡することにより、県下に改良の核となる超高能力産子の増産を図る。 (岡山県優良牛受精卵譲渡事業実施要領 平成6年10月1日制定)			
事業1 畜産研究所繋養の超高能力牛受精卵の譲渡 当所飼養の超高能力牛から年間80回の採卵を行い、性判別した雌受精卵を140卵譲渡する。			
事業2 酪農家所有受精卵の性判別 酪農家所有の優良牛から回収された受精卵100個を性判別し、優良後継牛の確保を促進する。 (1) 依頼予定頭数：30頭 (2) 性判別予定数：100卵			
事業3 卵巣受託による体外受精卵の作成 農家所有の優良牛から未受精卵を採取し、体外受精を行い、移植可能卵を作出する。 (1) 受託予定頭数：3頭 (2) 体外受精回数：3回			
○ 前年度までの成果			
1 当所飼養の優良遺伝子保有牛の譲渡について (1) 昨年度の譲渡数は予定170卵に対し、194卵(受胎率53.6%)を譲渡した。(H27.2.29時点) (2) 平成6年度以降の県下における譲渡卵数は2,529卵、受胎率54.4%となった。 (3) 平成6年度以降の県下における譲渡卵による後継雌産子数は934頭となった。また、その雌産子は2,126頭が日本ホルスタイン登録協会に登録されている。 (4) 雌産子の補正乳量を牛群検定終了牛成績から調査したところ、平成24年が10,934kg、平成25年が11,314kgであったが、平成26年は延べ1,951頭の平均で11,205kgであった。			
2 酪農家所有受精卵の性判別について 昨年度計画210卵(当初予算100卵、12月追加補正110卵)に対して、延べ36頭の採卵で208卵の性判別を行い、判別率100%であった。また、雌の割合は49.0%(雌102:雄106:不明0)であった。 (H28.2.29時点)			
3 酪農家所有優良牛の受託について 昨年度は1回の受託申込(卵巣)があったが、と畜場で廃棄処分となったため体外受精は行えなかった。(H28.2.29時点)			
○ 協力関係			

# 超高能力牛群造成高度利用システム化事業

